

(株)神戸製鋼所加古川製鉄所の降下ばいじんの

自主管理目標値超過について（令和6年7月度）

○ 概要

市が測定している、降下ばいじんの測定結果について、7月度の製鉄所影響値が3.86 t/km²/月で、(株)神戸製鋼所加古川製鉄所の自主管理目標値である、3.0 t/km²/月を超過したことが8月30日に判明した。

降下ばいじんの分析結果(令和6年7月度)			(単位:トン/km ² /月)
測定地点	不溶性物質(a)	不溶性物質バックグラウンド平均(b)※	製鉄所影響値(c) (c)=(a)-(b)
加古川神鋼ビル	4.76	0.90	3.86
別府小学校	3.58	0.90	2.68
尾上小学校	1.73	0.90	0.83

※環境監視センター、山手中学校、東神吉小学校、志方公民館、平荘小学校の不溶性降下ばいじん量の平均値

1. 背景

(株)神戸製鋼所加古川製鉄所は、県、市、地元と締結した環境保全協定において、周辺環境への粉じん飛散抑制のため、自主管理目標基準として市が測定をしている3カ所（加古川神鋼ビル、別府小学校、尾上小学校）の製鉄所影響値（その他市内5カ所の平均値を自然的要因のバックグラウンドとして除いた数値）を3.0 t/km²/月以下となるように管理基準を設けて管理を行っている。

2. 判明後の対応状況

8月5日の測定データ速報値にて自主管理目標値の超過が見込まれたため、8月6日に兵庫県・市が合同で(株)神戸製鋼所加古川製鉄所に立入調査し、7月度の自主管理基準超過の状況等を確認して報告するよう指示している。

分析事業者からの正式な測定結果は、8月29日夕方に確定し、(株)神戸製鋼所加古川製鉄所へは8月30日に伝えた。

3. 今後の予定

(株)神戸製鋼所加古川製鉄所では、令和3年度に5月～7月の3ヶ月連続で、昨年度は7月度において自主管理目標値を超過した。令和3年度は、原因究明のため対策グループで検証を行い、一般環境集じん機の増設等の対策を行い、昨年度は、原因設備である新溶鉄処理工場の集じん状態の改善改修を行った。今回の超過についても詳細調査をして、原因究明と対策について報告するよう指導している。

4. その他

(株)神戸製鋼所加古川製鉄所は市からの通知を受けて、同日中に尾上、別府町内会連合会会長及び東播磨漁業協同組合に説明し、その後記者発表及びホームページにて公表した。